

—散策同好会の復活をめざし、第1回散策&食彩企画を開催しました—

2024年春の散策&食彩企画「神楽坂下から飯田橋界隈の散策」(2月28日)の実施報告をお知らせします。

<天気は上々の神楽坂下>

前日の27日は、極度の低温、強い寒風が吹くなど、散策には厳しすぎる天気でした。一夜明けてみれば一転28日は、無風快晴の澄み切った青空が神楽坂下や外濠通りに広がり、素晴らしい上天気になってくれました。

11時30分 神楽坂下地铁口B3出口付近に集合した面々は五人、信本さん、藤川さん、上月さん、安田さん、最上でした。突然長元さんから、飯田橋に着いたけど、どこにいるのと緊急電話が入りました。上月さんが迎えに行かれたのですが、会えなかったと戻ってこられました。長元さんどこ？と置いていたら、どうも水道橋駅を飯田橋と勘違いしたご様子、気づいて歩き出したとのこと、ようやく全員そろったのは、12時前でした。

<別亭 鳥茶屋>

丁度お腹も空いてきたので、昼食は予定通り、神楽坂の中ほど見番横丁にある別亭 鳥茶屋に向かいました。ラッキーなことに空いていて、六人だけ告げたら、一階奥座敷、掘り炬燵の和室に案内されました。これで全員一機にリラックス状態、(上)親子丼を注文し、ビール、焼酎、ウーロン茶で乾杯となりました。和服姿の若い仲居さんも現れ大盛り上がり、神楽坂スゲーとなりました。なんやかやで1時近くまで粘って飲みました。



<By 藤川さん>



<By 信本さん>

<神楽坂の大きな美味しい肉まん>

1時過ぎ、神楽坂に戻って下り出したら、突然信本さんが、「神楽坂下に、肉まんの店があったんだ」と叫びました。たいそう大きくて美味しい肉まんだったそうで、ならお土産に買って行こうと相談がまとまり、周りを見回しました。それらしき肉まん屋が無さそうだったので、神楽坂をのぼって探してみることにになりました。信本さんと安田さんがずんずん歩いて行くと、「あったあった」と指差す右前方に、「神楽坂五〇番総本店」という名前の肉まん屋さんが見つかりました。中に入ってみると、ショーケース内には、様々な肉まんがならんでいました。さっそく順番に買い求めました。信本さんが店員さんに聞いてみたところ、昔信本さんが買って食べた肉まん屋さんではなさそうでした。でも思い出を辿るのも、散策の面白さの一つだと、気づかされました。



<By 藤川さん>

<東京大神宮に向かって Go>

1時30分、再び神楽坂を下り始めました。外濠通りを横断し、JR 飯田橋西口前を通過し、青森県のアンテナショップに到着、ここでは、最上が南部煎餅(黒ゴマ)買い求めました。自慢できるものはほとんどありませんからすぐ出ました。ただ、栄寿会関東支部の散策企画として、銀座界隈の各県のアンテナショップ巡りしたいなあと提案しました。青森県のアンテナショップを出てすぐに左折。大神宮通りに入り、上って行くと間もなく、左に東京大神宮が見えてきました。

東京大神宮は、言わば伊勢神宮の東京支店みたいなものです。鳥居をくぐって 20m ほど歩いたら、こじんまりとした、小さな社殿に着きます。参拝。境内は結構にぎやかで、参拝客が多くいました。信本さんの思い出話によれば、お友達の結婚式が大神宮の会館であったそうで、来たことがあったとのこと。ここで、長元さんとお別れして、5人となりました。

下右は最上(2/8)撮影



<By 藤川さん>



<小石川後樂園はもう少しだ>

1時50分、東京大神宮を出て、すぐ左折。15~16段ほどの階段を下ります。また信本さんが思い出を語りだしました。この近くに広島焼きの美味しいお店があったはずとのことでした。道なりに歩いていたら、突然「ここだよ」と信本さんの声が響きました。「広島風お好み焼きもみじ屋飯田橋本店」の黒塗り壁に大きな看板が見えます。なんとと言う偶然なのでしょう。肉まん屋さん、お友達の結婚式会場、そしてお好み焼き屋さんと続く邂逅は、決して演出ではありません。ハプニングなのです。これだから散策は面白いのです。栄寿会でここ(お好み焼き屋さん)に来たいですねなどと話しながら目白通りに出て、飯田橋東口方面に向かって歩き出しました。

駅近くのカフェの前を通りすぎる時、藤川さんが、「ここで、小学校から帰宅する孫と待ち合わせしたんだよ」と教えてくれました。もともと藤川さんの飯田橋界隈の思い出は、お孫さんのお迎えだったそうです。お孫さんと合流して、駅前からバスに乗って高田馬場まで送って行かれたのだそうです。毎日お続けになったのだろうと推測しました。夕方、飯田橋駅東口近くのこのあたりは、勤め帰りのサラリーマン、学生たちでごった返すので、狭いこの歩道は、低学年の小学生には、やっぱり危ない気がします。見守りご苦労様でした。

飯田橋ガード下をくぐり、神田川を渡っていよいよ、小石川後樂園に到着しました。

<小石川後樂園の梅はもう終わってました>

2時15分、小石川後樂園西門到着。シニアは入場券半額の150円。パンフレットを上月さんが取って回してくださり、入場。入ってすぐ正面に大きな池があり、奥に東京ドームのメロンパンみたいな白い屋根が浮かんで見えます。不思議な感じです。ここは、水戸藩の上屋敷跡で、光圀公の時代に今見える庭が完成したようです。無料ガイドのグループの後を追いつながら、白糸の滝の沢渡りを通り、円月橋では水面に写る橋と本体で円月になることを確認などしながら、散策しました。京都の愛宕山を模した愛宕坂を上り、一番奥の梅林に着きました。

2月の記録的な高温のため、無残にも桃の節句を待たず散り果て、もはや梅は微かにしかありません。名残の白梅をバックにして、名カメラマン藤川さん写真を撮っていただきました。結局小石川後樂園をほぼ半周して、砂浜を模した松原付近に着いたところで、3時になりました。ついに散策完了となりました。

円月橋を背景にした一枚と名残の梅を背景にした一枚。いずれも藤川さん撮影



<下左 By 信本さん>

<下右 By 藤川さん 松原から西方の蓬莱島を望む



<最後に>

信本さん、安田さん、藤川さん、上月さん、長元さん、お疲れさまでした。復活散策同好会、第1回目の散策&食彩企画にご参加くださりどうもありがとうございます。バス旅行とは違って、小人数での散策はそれなりに楽しいものですね。ハプニングが起こったり、思い出がよみがえったり、発見があったりの3時間でした。

今後、散策&食彩同好会を続けて行く上で、実際やってみたことで気づかされたことがたくさんあったように思います。まだ生煮えですが、継続すればきっと何か生まれると信じます。どんどんご指摘ください。

おまけ

※昔、若き信本さんが食べた大きな肉まんがあった中華屋さんが気になり、ググってみました。なんと神楽坂下から神楽坂上交差点辺りに引っ越していました。現在、肉まん専門店として継続しています。途中寄ったお店は、「神楽坂五〇番総本店」で、牛込神楽坂駅がある神楽坂上に移ったお店は、「神楽坂五十番本店」というらしいです。昔神楽坂下で営業していたことを、お店の前に掲示しているようです。機会があれば是非寄ってみてください。

最後まで読んでくださりありがとうございます。予想外に盛り上がった感じで少しうれしいです。次回企画は、会員の皆様ももっと多くこの指に止まってもらえるように考えるつもりです。皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

文責 最上克紀